

2023. 7. 17

Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

- 植物モニタリング活動 8/7、8/14、8/21 9:00 ため池公園梅林下集合
 - ニリンソウを守る会例会 8月はお休みします 9/10再開 10:00 大門ひろば集合
＜活動内容＞簡単な作業+どんぐりまつりのための準備
- *やる気のある人の自発的活動の集まりです。どの活動も、誰でもいつでも参加できます。
＜問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715＞

環境省
熱中症警戒
アラート

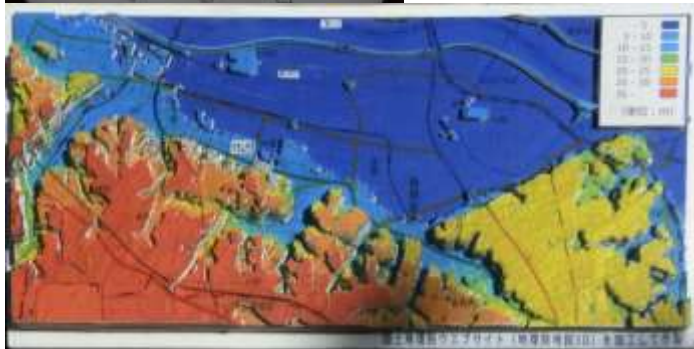


7/17は「危険」を表示 モニタリングは中止!

トピックス版

かなりの猛暑でも朝の9時台は「厳重警戒」を示すのが普通でしたが、7/17は違っていました。この日は9:00台から赤い表示の「危険」の警告。モニタリングのスタート地点には9人ものお仲間が集まりましたが、話し合いの結果、集団行動で動くことはやめになりました。というわけで、今号はいつもの開花情報ではなくて、最近の主だった出来事をお知らせすることとします。

武蔵野台地崖線の立体模型ができました



く、標高0m~30mまでを7つに色分けして、各標高ごとに厚さ2mmの用紙にプリントアウトし、標高線を切り抜いて貼り合わせるといった手の込んだ作品です。

7/17には赤塚公園サービスセンターの稲田センター長に「贈呈式」。分かりやすい解説を付けて、展示用のディスプレイに収めて、センターロビーでみなさまにご披露する予定です。

5月・6月の「赤塚公園ニリンソウを守る会」例会は、「崖線の水場巡りと湧水を考える」というテーマで崖線の水場巡りと地下水に関する学習会を行いました。その講師をつとめてくれた樋口雅人さんが、板橋区を中心に武蔵野台地崖線の「立体模型」をつくってくれました。最近はやりの3Dプリンタで作るのではな



しったり坂には説明板を設置しました



5月、6月の学習会では、お仲間の片平賢一さんが堀田依利さんと一緒に2022年から続けてきた、しったり坂の生物調査の記録発表も行われました。学習会での発表を期に来園者のみなさまにもご理解とご協力をいただくために、現地に説明板を設置したらどうかとの話が持ち上がりました。



7/10 センタースタッフとボランティアが設置場所を話し合い、絞り水の上流と下流、それに北側の小橋のたもとの3か所に設置しました。

①ここが歴史的に由緒ある所であること、②かつてはあちらこちらに流れていた絞り水は今ではここでしか観られなくなってしまったが、貴重な水源であり、③また、カワニナ、サワガニなど珍しい生き物も棲んでいるので、大切に守っていただきたいことを訴えています。

沖山地区の保護エリアでも草刈りをしました



沖山地区西側ロープ柵内 ↑7/16 草刈り前

↑人の背丈以上に伸びた草や木
草刈りによって開けてくるすっきりとした草原↓

沖山地区は大門地区の東側のブロックですが、ここも武蔵野の自然が残されている場所なので、東京都はその東側部分を生物多様性保全エリアとして保護・保全事業を行っています。

その西側のロープが張られた部分でも希少な植物が生育しているので、以前から年に2、3回、モニタリングのグループが中心になって草原復活を目指した手入れをしてきました。7/16には、有志9名が集まって草刈りをしました。猛暑なので30分だけの作業。それでもかなり違います。

